

- 問1 源頼朝が国ごとに置いた役職で、御家人の取りしまりや軍事、警察などを行ったものは何ですか。
- 問2 鎌倉時代に広まった、わかりやすい教えを持ち、武士や農民の間に広がった仏教のことを何と呼びますか。
- 問3 3代将軍の足利義満が、京都の北山に建てた建物は何ですか。
- 問4 源頼朝が鎌倉幕府を開いてから、鎌倉幕府がたおれるまでの約140年間のことを何といいますか。
- 問5 1274年と1281年の2度にわたって、元（モンゴル）が九州北部に攻めてきた出来事を何といいますか。
- 問6 14世紀に、足利尊氏（あしかがたかうじ）が京都に開いた幕府を何といいますか。
- 問7 源頼朝が荘園などの私有地に置き、税の取り立てや荘園の取りしまりなどを行った役職は何ですか。
- 問8 商業が盛んになるにつれて、各地で決まった日に開かれるようになった市場を何といいますか。
- 問9 室町時代に大成された伝統芸能である「能」は、劇の中でどのようなものを用いて演じる特徴がありますか。
- 問10 鎌倉幕府がつくった「御成敗式目」は、何をおこなうときの基準として定められた法律ですか。
- 問11 室町時代に始まった「狂言」とは、どのような劇ですか。
- 問12 室町幕府の3代将軍である足利義満が、明（中国）との間で行って大きな利益を得た貿易を何といいますか。
- 問13 8代将軍の足利義政のときにおこった「応仁の乱」は、その後の社会にどのような影響を与えましたか。
- 問14 13世紀に中国を支配し、日本も支配しようとして攻めてきた国はどこですか。
- 問15 室町幕府において、大きな力を持つようになった有力な守護のことを何と呼びますか。
- 問16 室町幕府の8代将軍で、京都の東山に「銀閣」を建て、独自の文化を広めた人物はだれでしょう。
- 問17 一向一揆は、どのような人たちが団結して起こした一揆ですか。
- 問18 室町時代から戦国時代にかけて見られた、実力のある者が、上の身分の者に取って代わる動きや風潮のことを何といいますか。
- 問19 室町時代に広まった「下剋上」とは、どのような動きや風潮のことですか。
- 問20 源頼朝の弟で、源氏の軍を率いて平氏を西国に追いつめ、壇ノ浦でほろぼした人物はだれですか。
- 問21 室町時代に生まれた文化のうち、能の合間に演じられた、庶民の生活などをユーモラスに描いた劇を何といいますか。
- 問22 源頼朝が鎌倉に開いた鎌倉幕府は、どのような人々による政権ですか。
- 問23 守護大名とは、どのような幕府の時代に、どのような人が大きな力を持つようになったものですか。
- 問24 源義経が率いる源氏の軍が、平氏を追いつめてほろぼした山口県にある場所はどこですか。
- 問25 鎌倉時代に、将軍の家来となった武士のことを何と呼びますか。
- 問26 東大寺南大門にあり、鎌倉時代の力強い文化を代表する彫刻の名前は何ですか。